

日刊 動労千葉

86. 8. 28

No. 2331

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二十一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

第11回 動労千葉定期大会の成功をちとる

大会成功のために

一 波・二波への切り拓いた勝利の地平おこさげ 正念場決戦ぶちぬく断固たる 三波・四波闘争体制うちたてよう

動労千葉は、八月二日に第三四回執行委員会を開催し、八月三十一日・九月一日の二日間にわたり開催される第十一回動労千葉定期大会の圧倒的成功へむけ全力で取り組むことを意志統一し、八月二三日の第三五回拡大執行委員会で次のとおり伝達した。

情勢は、前大会「時」以上にわれわれに闘いを求めている

「分割・民営化」をめぐる情勢はいよいよ重大な局面に突入し、ダブル選「圧勝」―「国鉄法案強行成立」せんとする財界・自民、「選別―首切り」をもつて労働者を恫喝し、利用者と労働組合を無視した施策を強行する国鉄当局、動労「本部」革マルの国労解体―総評脱退という国鉄労働運動内部からの裏切りと屈服と、まさに国鉄労働運動の存亡をかけた歴史的決断を迫られている中で動労千葉は「分割・民営化」に十万人首切り阻止闘争に二波にわたるストライキをもつて決起し、大量不当処分をはね返し闘いぬいてきた。

情勢は昨年大会の時以上に、われわれに闘いを求めている。闘う方針を何んら出さず当局・動労革マル・鉄労に組織を蹂躙され放題の国労をみるならば闘いが団結を固める最良の手段であること動労千葉の闘いが鮮明としてきた。

秋の「国鉄国会」へむけて清算事業団への助成金や「三島基金」などの詰めが八月下旬を目途に進められている。しかし、これはウソとベテンでぬり固めた大陰謀としてある「分割・民営化」攻撃であるがゆえに「六二・四・一」へ向けた矛盾の激化・拡大を深めている。

このような中で、国鉄労働運動破壊攻撃は、「人活センター」と「選別」をもつてする組合員一人ひとりに対する直接的攻防の段階に突入した。

二波の闘いが全国へすさまじい波及力としてあることがこの間の上映・物販活動の中で明らかとなった。さらなる力にするための組織化へ全組合員の決起、とりわけ役員・活動家の奮闘が今まで以上に問われている。

また「人材活用センター」「広域異動」攻撃と徹底対決し、「六一・一」ダイ改阻止へむけて全国鉄労働者の壮大な決起をつくりだしていく。

当面する取り組み

1. 「千葉技能人協議会」
八月十一日、局課員八一名によってデッチ上げられた「千葉技能人協議会」なるものに行方不明、井上宙丈の裏切り分子が「副委員長・書記長」として結成に参画した。
2. 「六一・一」ダイ改
七月三十一日、八月六日提案が行われたが「四組合即日集約」を背景に九月初めから事前作業強行の動向にある。団体交渉を形骸化し、一方的に仕切ろうという動きを許さない取り組みを強化する。
3. 「人材活用センター」
4. 第二次「広域配転」
八月二十九日……成田・商工会館
5. 「俺達は鉄路に生きる」上映集会
九月二日……銚子・青少年文化会館
二〇日……館山・安房教育会館
二八日……勝浦・市民会館
6. 当該支部は「全力」で、その他の支部は「当該地区居住者対象」として取り組む。
7. 第二波停職者の勤務について
7. その他

活発な職場討議と圧倒的な傍聴を

日時・8/31(日)10時〜9/1(月)17時まで
場所・山武郡九十九里町真亀(外房線大網駅下車) 国民宿舎・九十九里センター

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！